

ABSTRAKSI

ANALISIS MAKNA VERBA *HAIRU* SEBAGAI POLISEMI: KAJIAN LINGUISTIK KOGNITIF

Anugrah Bintang Febriane
1202005

Dalam bahasa Jepang banyak verba yang berpolisemi atau bermakna ganda. Salah satunya adalah verba *Hairu* yang akan diangkat oleh penulis dalam penelitian ini. Masalah yang sering dihadapi oleh pembelajar bahasa asing ialah kesulitan dalam penerjemahan dan penggunaan verba *Hairu* dalam suatu kalimat. Tujuan dari penelitian ini yaitu untuk mencari tahu makna dasar dan makna perluasan kata verba *Hairu* dari sudut pandang Linguistik Kognitif dengan menggunakan tiga gaya majas, yaitu *metonimi*, *metafora*, dan *sinekdoke*, serta menggambarkan hubungan antarmakna verba tersebut secara konkrit dalam bentuk struktur polisemi. Metode yang digunakan dalam penelitian ini adalah metode analisis deskriptif. Data dihimpun dari berbagai sumber untuk disusun secara sistematis, diklasifikasikan, dan dianalisis. Dari analisis yang telah dilakukan, dapat disimpulkan bahwa makna dasar verba *Hairu* adalah masuk (perpindahan objek dari ruang luar ke ruang dalam). Sedangkan makna perluasannya yaitu; 2) tersimpan; 3) terkirim masuk; 4) alat yang disimpan kemudian digunakan; 5) terdapat; 6) didapat; 7) memasuki waktu; 8) terlibat; 9) menampung; 10) menengahi masalah untuk diselesaikan; dan 11) tertangkap. Dari hasil makna yang telah dianalisis dapat diketahui bahwa makna yang mengalami perluasan secara *metafora* yaitu 7) memasuki waktu dan 11) tertangkap. Lalu makna yang mengalami perluasan secara *metonimi* yaitu 2) tersimpan, 4) alat yang disimpan kemudian digunakan, 5) terdapat, 6) didapat, 8) terlibat, dan 10) menengahi masalah untuk diselesaikan. Lalu, makna yang mengalami perluasan secara *sinekdoke* yaitu 3) terkirim masuk dan 9) menampung.

Kata Kunci: Polisemi, Verba, *Hairu*, Linguistik Kognitif

ABSTRACT

HAIRU AS A POLYSEMY: A COGNITIVE LINGUISTICS VIEW

Anugrah Bintang Febriane
1202005

In Japanese language, there are a lot of polysemic verbs. One of them is *Hairu* as appointed by the writer in this research. Problems often encountered by the foreign learners are the difficulties in translating and using *Hairu* verb in sentences. The purposes of this study are to find out the basic meanings of *Hairu* and its expansion meanings reviewed from the point of view of Cognitive Linguistics perspectives, by using three styles of rethorical expressions: *metaphor*, *metonymy*, and *sinecdoché*; and to describe the relationship of its interactions in concrete forms of polysemic structures. The method used in this research is descriptive analysis method. Data are collected from various sources to be sistematically arranged, compiled, classified, and analyzed. From the analysis, it can be concluded that the basic meaning of *Hairu* verb is *enter* (preposition of objects from outside to inside spaces). Meanwhile the expansion meanings of *Hairu* are: 2) to be stored, 3) to be sent in; 4) some stored equipment then are being used; 5) exist; 6) to obtain; 7) to enter the time; 8) to participate or to get involved; 9) consist or contain; 10) to mediate a problem to be solved; and 11) to be stabbed. The results from the analysis are: 7) to enter time and 11) to be stabbed are extend *methaphorically*, then, 2) to be stored, 4) some stored equipment then are being used, 5) exist, 6) to obtain, 8) to participate, and 10) to mediate are extend *metonymically*, and the last 3) to be sent in, and 9) consist and contain are extend *sinecdochically*.

Keywords: Polysemy, Verbs, *Hairu*, Cognitive Linguistics

多義語としての動詞「入る」意味の分析

アヌグラ・ビンタン・フェビリアネ
1202005

要旨

日本語では、多義性あるいは曖昧性を持っている動詞が非常に多い。そのなかの一つは本研究で筆者が取り上げられる「入る」という動詞である。外国語学習者がしばしば遭遇する問題は、翻訳における難しさと、文中における「入る」という動詞の使用法である。本研究の目的は、隠喩(メタフォア)、換喩(メトニミー)、提喩(シネクドキー)の3種類の比喩を用い、認知言語学の視点から「入る」という動詞の基本義と転義を探求することと、さらに、「入る」という動詞の多義構造における具体的な意味関係を述べることである。用いた研究方法は記述で、データは体系的に整理し、そして分析するために様々な情報源から収集した。分析の結果、基本義は入る(ある対象が外部からある場所内部へ移動する)と結論づけられる。一方、「入る」の転義は:保管される、送付する、設備する、ある、得られる、時期の変化、参加する、収容する、仲裁する、差し込むであった。結論としては、メタフォアによって拡張した語は、⑦時期の変化、⑪差し込むであった。そして、メトニミーによって拡張した語は②保管される、④設備される、⑤ある、⑥得られる、⑧参加する、⑩仲裁するであった。最後に、シネクドキーによって拡張した語は、③送付する、⑨収容であった。

キーワード: 多義語、動詞、入る、認知言語学

A. はじめに

言語学には、意味論は重要な役割がある。なぜなら、言語はコミュニケーションに使用され、その場面に言語の機能は相手に対してアイデア・考えを伝達し、話し手が理解できるという目的を持つ。従って、意味の研究重要はである。日本語学習者にとって、単語は主な存在であり、書くと話す能力につなぎ、単語も一つの言語のアスペクトとして身に付くしなければならないと扱われるのだ。単語の種類に含まれているのは動詞である。日本語の動詞は多義性あるいは曖昧性を持っている動詞が非常に多い。多義語というのは一つの語からいくつかの意味が派生したものである。本稿の考察対象は「入る」動詞である。なお、以下辞書類を取り上げ、その記述内容を検討する。

学研現代新国語辞典(2002)によると、「入る」の意味は6である。それらは:①上がる、②参加する ③得る、④時期が変わる、⑤混ぜられる、⑥所属される。

Anugrah Bintang Febriane, 2017
ANALISIS MAKNA VERBA HAIRU SEBAGAI POLISEMI: KAJIAN LINGUISTIK KOGNITIF
Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu | perpustakaan.upi.edu

本辞書は短く例文を挙げ、更に「入る」の類義語を示して読者に理解しやすいものだが、例文の数が少ない過ぎる。

基本動詞用法辞典（1996）によると、「入る」の意味は 10 である。それらは：①上がる、②保管される、③設備される、④所属される、⑤状況の変化、⑥到着、⑦混ぜられる、⑧付けられる、⑨差し込む、⑩仲裁する。

本辞書は意味・文型・「入る」動詞の対象にかかわる言葉を述べたが、詳しい説明があまりない。

B. 問題提起

外国語学習者がしばしば遭遇する問題は、翻訳における難しさと、文中における「入る」という動詞の使用法である。そこで、筆者は改めてその意味を認定し、本研究で認知言語学の視点から「入る」という動詞の基本義と転義を探求すること、さらに、多義構造における具体的な意味関係を述べることである。

C. 先行研究

前節どおり、本稿の考察対象は「入る」動詞である。「入る」に関する多義語の分析が見つからないである。参考として、多義語に関する研究対を取り上げる。

Sutedi (2001) は「上がる」意味分析を行い、その結果は 11 語があったという。起点となる意味から 10 の意味が派生している。基本義は上がる（下側から上側に向かう運動）と結論づけられる。一方「上がる」の転義は②移動する、③昇格、④身分が変わる、⑤聞こえる、⑥見つかる、⑦試合する、⑧緊張する、⑨増加する、⑩入る。

藤森 (2012) は「かく」意味の分析を行い、その結果は 12 語があったという。起点となる意味から 11 の意味が拡張している。基本義はかく（棒状の物を表面に垂直を立て、水平方向に動かす）と結論づけられる。。一方、「かく」の転義は、②スコップで雪をかく、③水をオールでかく、④ひらがなをかく、⑥短編小説をかく、⑦曲を掻く、⑧汗をかく、⑨いびきをかく、⑩べそをかく⑪恥をかく。

二つの先行研究から、意味を記述するため方法は認知言語学の視点から 3 種類の比喩、隠喩（メトニミー）、換喩（メタフォア）、提喩（シネクドキー）を用いることが分かった。しかし、藤森と Sutedi の多義関係構造が違う形式で述べたである。藤森の場合は、意味を具体的に解釈するが、同義語は述べていない。

D. 研究方法

本節は研究方法を述べる。町田と靱山（Sutedi、2011 : 163）を踏まえ、多義語の分析する方法は：

1. 意味区分

a. 語の意味に応じて同義語を探求する。

例：

階段を <u>あがる</u>	=	のぼる	意①
料理を <u>あがる</u>	=	できる	意②
家に <u>あがる</u>	=	はいる	意③
犯人が <u>あがる</u>	=	みつかる	意④

b. 語の意味に対し、反義語を探す。

例：

背が <u>高い</u>	↔	背が <u>低い</u>	意 ①
値段が <u>高い</u>	↔	値段が <u>安い</u>	意 ②

c. 語の意味の上下関係を観る。

例：

物を <u>置く</u>	→	もの①	意①
私のような <u>者</u>	→	もの②	意②
知る <u>もの</u> ですか	→	もの③	意③

d. 他言語のバリエーション観る。

例：（日本語→インドネシア語）

網をひく	→	menarik	意 ①
辞書をひく	→	membuka	意 ②
ギターをひく	→	memainkan	意 ③
風邪をひく	→	masuk angin	意 ④
豆をひく	→	menggiling	意 ⑤

2. 基本義の認定

a. アンケート調査

アンケート調査を行い、回答者に提示した意味をどれかが基本義なのかを選択する。または、回答者に基本義に関する作例を書くことである。

b. 言語的の要素を観る

一般、文中で自由に使用されている場合は基本義として捉える。しかし、文に必要とされる他の要素は基本義とは言えない。

3. 多義構造の表示

町田と初山（Sutedi, 2011:188）による、多義語の意味の記述は3種類の比喻、隠喩（メタフォア）、換喩（メトニ

ミー、提喩（シネクドキー）、の観点から考察を行われる。
なお、比喩の定義を提示する。

メタフォアー : 二つの事物・概念何らかの類似性に基づいて、一方の事物・概念を形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喩。

メトニミー : 二つの事物の外界における瞬接性、あるいは二つの事物・概念の思考内、概念上の関連性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喩。

シネクドキー : より一般的な意味を形式を用いて、より特殊な意味を表す、あるいは逆により特殊な意味を表す形式を用いて、より一般的な意味を表すという比喩。

以上、「入る」動詞の分析は記述方法を用い、その意味の関連性を3種類の比喩、メタフォアー、メトニミー、シネクドキー、の観点から考察を行う。

E. 研究データ

本研究のデータは実例と作例を集め、「入る」動詞の意味を分析する。文型は多様な情報源から収集した。以下、必要されるデータのリストである。

1. 日本語基本動詞用法辞典 (1996)
2. 基礎日本語辞典 (1998)
3. 学研現代新国語辞典 (2002)
4. 日本語インドネシア辞典 (1994)
5. [www. aozora. gr. jp](http://www.aozora.gr.jp)
6. [www. ejje. weblio. jp/content/](http://www.ejje.weblio.jp/content/)
7. [www. tangorin. com/examples/](http://www.tangorin.com/examples/)
8. <http://nlb.ninjal.ac.jp/>
9. <https://www3.nhk.or.jp/>
10. <http://ameblo.jp/jasdf-ob1962/entry-11869972266.html>
11. <http://minimote.hateblo.jp/entry/tyuusai>
12. [www. tc-law-rikon. com/divorce_women/mechanism](http://www.tc-law-rikon.com/divorce_women/mechanism)

F. 結果と考察

基本義と転義の認定する際に、日本語動詞用法辞典（1996）と基礎日本語辞典に基づく意味の認定をできた。「入る」動詞の収集されたデータの合計は 99 実例と作例である。だが、本節は例文を少し挙げるとともに、結果と考察を説明していく。

1. 「入る」の別義 1 : ある対象が外部からある場所内部へ移動する

(1) 勝手に部屋に入りまーす。

(<http://nlb.ninjal.ac.jp/headword/v..00025/>)

(2) 車がトンネルに入る。

(森田、1998 : 929)

(3) 階上の右手にある書齋に入った。

(http://www.aozora.gr.jp/cards/000148/files/770_43504.html Natsume Souseki, Kebeeru sensei)

例文(1)と(3)は、主語となるのは人が外から室内の中に移動するという意味を表している。しかし、(2)の例文はある乗り物が他の場所へ進んでいき、中に上がる状態を示している。本稿では別義 1 が派生の起点となっていると考え、基本義とする。

2. 「入る」の別義 2 : 保管される

(4) この箱にはりんごが入っている。

(<http://tangorin.com/examples>)

(5) 袋の中にお金が少し 入っています。

(<http://tangorin.com/examples>)

(6) 冷蔵庫にビールが入っている。

(小泉、1996 : 411)

(7) 箱の中に人形が入っている。

(<http://tangorin.com/examples>)

「入る」の基本義はある対象が外部からある場所内部へ移動する。一方、別義 2 はある対象が場所あるいは物の中に収まることである。その対象が収まる状態が、ある主体の動作の結果から原因になった。なお、別義 2 は別義 1 からメトニミーにより意味を派生したと考えられる。

3. 「入る」の別義 3 : 送付する

(8) 書店に最新号が入った。

(小泉、1996 : 412)

- (9) 彼は毎月奨学金が 10 万円入る。
(小泉、1996 : 412)

別義 3 はあるものが動作によって特定の領域に届くこと。別義 1 との概念が同様だが、送付する場合はどんな方法で物が他の領域を踏み込むことが中心となっている。このことから別義 3 は別義 1 からシネクドキーによって拡張したものである。

4. 「入る」の別義 4 : 設備される

- (10) ドアを開くと、照明のスイッチが入って光があふれた。
(<http://nlb.ninjal.ac.jp/headword/v..00025/>)

- (11) 研究室にクーラーが入った。
(小泉、1996 : 412)

- (12) さっきなぜかマイクが入らなかつた。
(<http://tangorin.com/examples>)

別義 1 はある対象が内部に移動するだが、別義 4 はある場所の中に設備・機器がある場所に付けられ、主体の目的に応じて使う。主体が意識的にももの使用するからこそ、ある状態に変化する。この違いにより、別義 4 は別義 1 からメトニミーにより意味を派生したと思われる。

5. 「入る」の別義 5 : ある

- (13) 画面に一本の白い線が縦に入っています。
(<http://nlb.ninjal.ac.jp/headword/v..00025/>)

- (14) この本に絵がたくさん入っています。
(<http://tangorin.com/examples>)

- (15) この石けんには天然香料が入っている。
(<http://tangorin.com/examples>)

- (16) この報告には報告者の主観が入っている。
(小泉、1996 : 412)

別義 5 は、2 つの意味が可能と考えられる。①ある作用、行為が加えられ、それが結果として残る②二つの抽象的また具体的な物が混ぜられる。どれでも、主体の行為が影響を与え、ものの全体部分の一部になり、どれか目立つ傾向があるとい

うことが中心となった。このことにより、別義 5 は別義 1 からメトニミーによって拡張したものである。

6. 「入る」の別義 6 : 得られる

(17) 小笠原諸島では、NHK の電波しか入らない。
([www. tangorin.com/examples/](http://www.tangorin.com/examples/))

(18) だみ声が耳に入ってきた。
([http//nlb.ninjal.ac.jp/headword/v..00025/](http://nlb.ninjal.ac.jp/headword/v..00025/))

別義 1 と同じようにだが、別義 6 はある対象が偶然に話者の側に付いており、主体は無意識的に行為を加えてない。この相違点によって、別義 6 は別義 1 から派生し、メトニミーにより派生した意味だと考える。

7. 「入る」の別義 7 : 時期の変化

(19) 11 月に入ると日増しに寒くなる。
(<http://tangorin.com/examples>)

(20) 戦争は最終段階に入っていた。
([www. tangorin.com/examples/](http://www.tangorin.com/examples/))

(21) 1 2 月に入ったので、そろそろ交換したほうがいいと思います。

([http//nlb.ninjal.ac.jp/headword/v..00025/](http://nlb.ninjal.ac.jp/headword/v..00025/))

(22) 作業は最後の段階に入る。
(小泉、1996 : 412)

別義 7 は主体の時間的な状態もしくは、段階が変化すること。別義 1 と類似性のある領域に移動するが、別義 7 の場合はより抽象的なものである。別義 7 は別義 1 の意味関係はメタフォアの比喩だと思われる。

8. 「入る」の別義 8 : 参加する

(23) 学校のオーケストラに入るつもりなのだ。
([www. tangorin.com/examples/](http://www.tangorin.com/examples/))

(24) 息子が悪友仲間に入った。
([www. tangorin.com/examples/](http://www.tangorin.com/examples/))

(25) 東京の大学に入ったんですよ
([http//nlb.ninjal.ac.jp/headword/v..00025/](http://nlb.ninjal.ac.jp/headword/v..00025/))

- (26) 彼は中学校に入った。
(www.tangorin.com/examples/)

別義 8 は短期的あるいは長期的にある集団、組織、分類に所から属するという意味を表している。別義 8 は別義 1 からメトニミーにより拡張し派生した意味だと考えられる。

9. 「入る」の別義 9 : 収容する

- (27) このコップには水が入ってる。
(www.tangorin.com/examples/)

- (28) そのボトルにワインは入っていない。
(www.tangorin.com/examples/)

- (29) この球状場は 5 万人入る。
(www.tangorin.com/examples/)

- (30) この部屋には 50 人が入ることができる。
(www.tangorin.com/examples/)

別義 1 とほぼ同じような概念を持っているが、別義 9 はあるものが大量な対象を収容する能力を持っている、つまりあるものがより特定の機能があるということが強調される。なお、別義 9 は別義 1 により派生した意味だと考える。

10. 「入る」の別義 10 : 仲裁する

- (31) 口論がちょうど激しいときに彼が仲裁に入った。
(www.tangorin.com/examples/)

- (32) 人間関係で揉めたりする際に、仲を取り持つというか仲裁に 入る人がいます。

(<http://minimote.hateblo.jp/entry/tyuusai>)

別義 10 は口論や喧嘩など仲直りさせようと両者の間に立つ意味を表している。別義 10 は別義 1 からメトニミーにより拡張し派生した意味だと考えられる。

11. 「入る」の「入る」の別義 11 : 差し込む

- (33) 魚の腹に包丁が入る。

(小泉、1996 : 412)

(34)田畑 にくわが入る。

(小泉、1996 : 412)

別義 1 はある対象が内部へ移動すること。それに対して、別義 11 は刃物がある表面の中に差し込まれる。どれでも、同様にある対象がものあるいは表面に入った状態を示すことから、別義 11 は別義 1 によりメタフォア-の関係を持つだと思われる。

以上、「入る」の 11 の別義間の関連性を比喻に基づく分析を行い、考察をした。結論として、「入る」の基本義は「ある対象が外部からある場所内部へ移動する」であった。そして、転義は 10 語あることが分かった。それらは、②保管される、③送付する、④設備する、⑤ある、⑥得られる、⑦時期の変化、⑧参加する、⑨⑩収容する、⑪仲裁する、⑫差し込むであった。それらの多義関係の構造は次に示した図のとおりである。

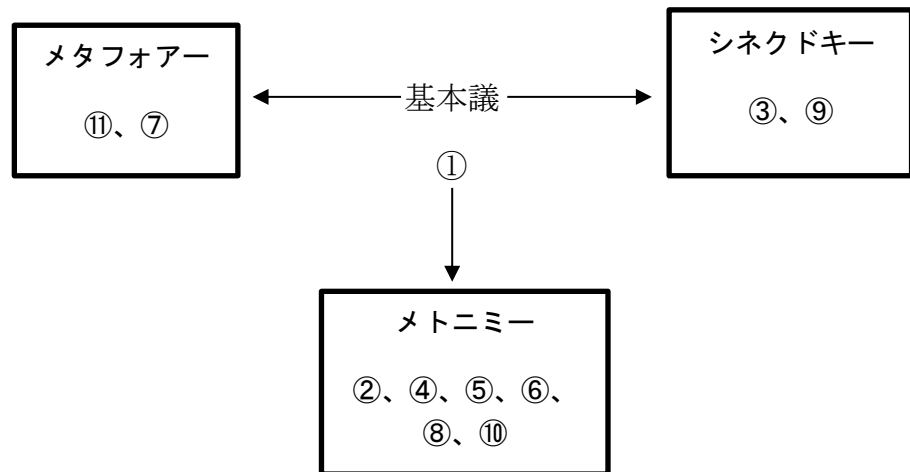


図 1. 「入る」動詞の多義関係

G. おわりに

これまでの考察で明らかになった「入る」の意味分析を試みた。分析した結果、11 の意味を認定できた。なお、意味の派生の動機づけは 3 種類 比喻、メタフォア-、メトニミー、シネクドキーである。本研究は動詞 「入る」の分析を試みたが、意味の分析がまだ深く解釈していない。次に、今後の課題に日本語とインドネシア語における動詞「入る」の意味分析が必要だと考えられる。

参考文献

- ⇒金田一春彦 (2002) 『学研現代新国語辞典』 学研教育出版
- ⇒小泉保 (1996) 『日本語基本動詞用法辞典』 大修館書店
- ⇒藤森秀美 (2012) 『かく意味分析』 名古屋学院大学論集 言語・文化篇
第24巻 第1号 pp. 177-188
- ⇒Dedi Sutedi (2001) 『上がる意味分析』 Humaniora
- ⇒Dedi Sutedi (2011) 『Dasar-dasar Linguistik Bahasa Jepang』
Humaniora

用例出典

- ⇒(http://www.aozora.gr.jp/cards/000148/files/770_43504.html Natsume
Souseki, Kebeeru sensei)
- ⇒(<http://nlb.ninjal.ac.jp/headword/v..00025/>)
- ⇒ (<http://tangorin.com/examples>)